2020 年 4 月 16 日

医学部生　各位

聖マリアンナ医科大学
医　学　部　長　　加藤　智啓
学年担当委員長　　髙田　礼子
学　　医　　國島　広之

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について(第 4 報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、遠隔授業実施中を含め、在学生は状況に応じて以下のとおり対応してください（登校開始予定である 5 月 11 日(月)以降も同様の対応になります)。

①　学生自身の体調不良や新型コロナウイルス感染が疑われる場合

発熱･感冒症状等､新型コロナウイルス感染が疑われる症状のある場合は､極力外出を控え、自宅待機として様子を見てください。発熱かつ症状の消失から 24 時間経過までは自宅にて安静にしてください。4 日以上続く感冒症状、37.5℃以上の発熱や、強い倦怠感や呼吸困難等がみられる場合は、「帰国者・接触者相談センター」に連絡のうえ、勧められた医療機関を受診し、学務課にも報告してください。また、受診結果等について、学生本人または保護者から学務課に随時連絡してください。体調が回復し、登校開始となった場合も、毎朝・夕の検温を行う等健康状態に注意を払い、マスク着用や手指衛生等を行ってください。

②　学生自身が「濃厚接触者」となった場合、または海外から帰国後 14 日以内等に該当する自宅待機の場合

保健所の指導に従い、以下の点に注意してください。なお、学務課に状況の詳細を連絡してください。また、別紙資料を確認し、③の注意事項と同様、家庭内で物理的な距離をとることをはじめとした感染予防策をとってください。

・濃厚接触者(保健所の健康観察の対象者)は 14 日間の自宅待機とする。
・毎朝・夕の検温を行う等、健康状態に注意を払う
・不要不急の外出をできる限り控え、やむを得ず外出する際、公共交通機関の利用を避ける
・外出時や同居者等との接触時に、マスク着用や手指衛生等を行う

なお、自宅待機中に症状が出現した場合は、保健所等に相談し、学務課にも報告すること。

③　同居者の体調不良や新型コロナウイルス感染が疑われる場合、同居者が「濃厚接触者」として自宅待機となった場合、または海外から帰国後 14 日以内等に該当する自宅待機者と同居している場合

別紙資料を確認し、家庭内で物理的な距離をとる、マスクの着用、手指消毒、共有部分の消毒等、感染予防策をとってください。また、不要不急の外出は避けてください。登校開始後の登校制限はしませんが、毎朝・夕の検温を行う等健康状態に注意を払い、マスク着用や手指衛生等を行ってください。

→学生本人にも咳や発熱等の症状がみられる場合は①へ
→同居者が陽性であることが判明した場合は②へ

【問い合わせ先】　教学部学務課
Tel：044-977-8111(代表)　内線 4803～4807
Mail：gakumuka@marianna-u.ac.jp

別紙 ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合

家庭内でご注意いただきたいこと
～８つのポイント～

（一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変）令和2年３月１日版

部屋を分けましょう

◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
- 子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。
- 寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。

◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

◆ **使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。**

◆ **マスクの表面には触れないようにしてください。** マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。

◆ **マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。**
（アルコール手指消毒剤でも可）

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

◆ **こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。** 洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

裏面へ

換気をしましょう

◆ **定期的に換気してください。**共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

◆ **共用部分**（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた**後、水拭きしましょう。
- 物に付着したウイルスはしばらく生存します。
- 家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。

◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。**
- タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
- 感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。

◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**
- 特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**
- 糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。**その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- **ご本人は外出を避けて下さい。**
- **ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。**